



本郷ふじやま公園
本郷ふじやま公園
運営委員会発行

☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。



第5回能舞・能管コンサート

栄区誕生30周年
30th
2016 ANNIV.
もっと栄が好きになる

ふじやま公園の今年の秋は能舞・能管コンサートから始まります。演目は秋の代表的なものから選ばれ、各演目の主な部分の仕舞、独吟・連吟、能笛演奏などを行います。加えて能笛により「鶴と亀」を鑑賞の皆さんで歌います。会場の設えは、行灯や大きな老松を描いた鏡板の他にボランティアの新しい試みがあります。開演前に鑑賞者の皆さんへふじやま公園特製そばの提供も予定しているので、ふじやまの秋をお楽しみにお出かけください。各演目のあらすじは次の通りです。

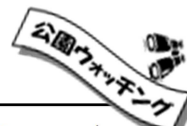


「紅葉狩」：高貴な身分の女性(実は鬼神)の華やかな紅葉狩り宴席と、鹿狩りに来た平維茂と鬼神の壮絶な戦い。場面の転換が見もの。

「枕慈童」：勅命を受けた廷臣が薬水を求め深山に入ってくくと、菊の咲き乱れた仙境に住み、数百年間歳をとらなかった慈童という童顔の仙人に会う。

「融(トオル)」：都に上った東国の僧が、六条河原院で汐汲みの老人(実は源融の亡霊)と中秋の名月のもと昔話や都の名所を語り、やがて老人は月の都に戻る。

日 時：27年10月24日(土) 17時～18時30分 場 所：古民家主屋
出演者：金剛流能楽師 熊谷真知子 一噌流能管演奏者：根岸啓子
応募方法：往復ハガキ(1枚に1名)、 定 員：80名、 鑑賞無料、
申込期限：9月30日(水)必着 コンサート、そばとも多数の場合は抽選になります
そば提供 鑑賞者から希望者50名限り 応募ハガキにそば希望と記入 300円
喫食時間：16時～16時45分



今年は公園でも何だか鈴なりのような抜け殻をよく見かけた。7年毎とか13年毎とかいわれる大発生的一年みたいだが、それほどには鳴き声を聞かなかったような気がする。こんな大量の抜け殻をみると、抜け殻を重ねてきたような自分の人生がよみがえってくる。それだけ脱皮をしたという意味ではなく、今が抜け殻そのもの、それも7つや8つの…という意味だ。抜け殻相応に、せいぜいバスのパスを利用して、現世(うつせみ：空蟬)をさまよい歩くか…。

歴史探訪100回達成しました！

平成16年10月に始まった古民家歴史部会の歴史探訪が9月2日で100回目を迎えました。数々の注意報、警報が出る悪天候も、歩き始める頃にはちょっとおさまりましたが、それでも参加の22人は半信半疑の表情でスタート。公園周辺の長慶寺、中野の力石…などを探訪して、近くのレストランで昼食、乾杯などで100回を祝いました。100回で延べ2,000人近くが参加しました。



光るめだかがすーいすい



せて欲しいものです。

古民家ゾーンに置かれた火鉢の中でメダカが十数匹泳いでいます。かつてはこの小川でも見られたメダカですが、このメダカは江戸朝顔と違って古いタイプのものではなく、最近品種改良された光メダカの1種でみゆきメダカといわれているもの。今人気のみゆきメダカを眺めながら、外来種や新品種の登場で少なくなっている日本固有の品種に思いをは

“昔の暮らし(民具と農具)” 火鉢

火鉢は、昔は必需品でしたが現在ではほとんど実用されていない民具の例の一つでしょう。灰を入れ、中に燠(おき)、炭火をついで手足をあぶり、室内を暖め、湯茶などを沸かすのに用いました。平安の昔は火桶(ひおけ)、火櫃(ひびつ)といい、後世はもっぱら火鉢とよんでいました。室内の暖房のために「いろり」が広く用いられましたが、煙と煤(すす)を避けるため座敷では火鉢が用いられました。火桶はヒノキなどの曲物(まげもの)に土製の容器を置いたものでした。



やがて陶器製や金属製ができ、形も丸火鉢、長火鉢などと多様化しました。火桶の使用期間は旧暦10月から3月までと云われていました。

火鉢は蚕の飼育室内を発育に適する温度(23~27℃)に保つためや、お茶の焙煎に用いられ、農具でもありました。

古民家の土間には大火鉢、内蔵には色々な形、大きさ、材質の火鉢があります。見比べ、昔の人たちが暖をとっている姿を想像してくださ

い。
ふじやま公園の植物

ヒガンバナ

ヒガンバナ科

中国原産。曼珠沙華、リコリスの別名もある。秋のお彼岸の頃、地面から突然伸びて鮮やかな色の花を咲かせる。高さ30~50cmの花径を立てて赤い花を輪状につけ、花後に細い葉がでて越冬する。根にはリコリンを含む有害植物。不吉なイメージが先行するが田んぼのあぜ道などに植え、ネズミやモグラが穴をあけるのを防ぐ。ヒガンバナが一面に植えてある「ひだか巾着田」が美しく有名。農園脇に植栽。

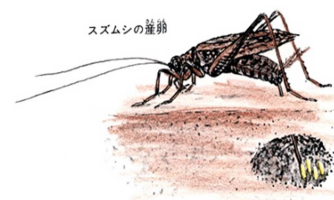


秋の夜長を鳴きとおす～♪ りんりんり～んりん

主屋土間で孵化し、6回ほどの脱皮を繰り返し、漸く鳴き始めたスズムシたちをお分けしましたが、その後、元気に鳴いていますか。好物のキュウリ、ナス、トウモロコシ、リンゴなどをたくさん食べて丸々と太ったスズムシは、私たちに秋の夜長を楽しませてくれたのち、やがて気温が15度を下回る頃、雄雌共にその役目を終えます。

雌が土中に産んだ卵をかえすには、ケース内の炭や餌のクズなどを取り除いて土の表面を綺麗にします。また、他の虫が入らない様にガーゼで覆い、しっかり蓋をして涼しく暗いところに置きます。その間、土の表面が乾いたらたつぷりと霧を吹き、湿り気を与えます。

スズムシ越冬隊は、玄関の片隅などで過ごしたのち、翌年6月中旬頃から幼虫が這い出しはじめます。このようにして、繰り返し成長過程を楽しむ事ができます。挑戦してみましょう。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

- ・子供2人(5歳、2歳)と来ました。おとなでもテンションが上がってしまうようなすてきな古民家でした。また来たいです。ありがとうございました。(市内、30代、家族と)



秋も見頃です フウセンカズラの緑のカーテン

酷暑が続いた今年の夏、事務所の窓際で涼しさを演出してくれたのが、フウセンカズラで作った緑のカーテン。

最近はゴーヤにとって代われ見かけることが少なくなりましたが、白い清楚な花を咲かせ、可愛い風船を付け、穏やかな秋の風にさやさやと葉を揺るがす様子は、ゴーヤとはまた違った和の趣があります。秋が深まると、黒地に白のハート模様がはいった種を採取して来年のカーテン作りに備えます。



平成27年10月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	2日(金)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	19日(月)	古文書解読勉強会	4日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	7日(水)
里山部会 作業	10日(土) 17日(土)	クリーンアップ	6日(火) 20日(火)
	25日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	14日(水)	ふじやまだより編集会議	10日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	31日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
木版画教室 (全3回)	10月10日(土)13時～16時 11月 7日(土) 〃 12月 5日(土) 〃	年賀状版画制作	300円 (版本代)	10月20日(火) 12名
植物画教室 (全4回)	10月12日(月) 13時～16時 11月 2日(月) 〃 12月 7日(月) 〃 1月11日(月) 〃	植物の細密描写(水彩)	無料	10月20日(火) 12名
押し花	11月16日(月)13時30分～ 15時30分	初秋のデザイン押し花絵	2,000円	10月30日(金) 6名
子ども工作 (小学生、親子)	10月18日(日)10時～11時 〃 13時～14時	割りばしとストローでスカイシャトルを作って飛ばそう	無料	当日申し込み 各10名
粘土で作るアクセサリー(全3回)	11月20日(金) 9時30分 12月18日(金) 〃 1月15日(金) 〃	自然乾燥でオリジナルなブローチ作りが楽しめます (3種類)	1,500円	11月12日(木) 10名 (大人)
「伝統工芸鎌倉彫」を彫る (全2回)	11月22日(日)10時～15時 11月23日(月)10時～ 12時30分	平皿にザクロ文を彫ります	2,000円	10月30日(金) 10名
草木染(茜)	11月24日(火)13時～16時	シルクのストールを染める	2,500円	11月10日(火) 12名
布ぞうり作り	11月27日(金)10時～15時	一日で一足完成します	700円	10月30日(金) 12名
里山の そば打ち塾	11月28日(土)10時～12時	美味しいそばを打てます 自分で打ったそばの試食	800円	11月14日(土) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お 知 ら せ・・・

★ いろいろ端むかし話の会

いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか

日 時：10月15日(木) 10時30分～11時30分 場 所：古民家主屋いろいろ端

定 員：15名 当日参加自由 無料

★ ふじやま農園収穫祭 11月14日(土) 11時～13時 荒天時は翌15日に順延

★ 古文書講座「横浜開港後の外国人の遊歩区域について」

日時：11月17日(火) 14時～15時30分 場所：あーすぷらざ 参加費：500円

★ 8月ふじやま公園来園者数 1,010名 27年度累計 8,324名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(10月7日)
- ・ク リ ー ン ア ッ プ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時(10月6日・20日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷 1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593

